

学校適正配置 榎尾中学校区

第2回意見交換会

～榎尾中学校区今後の教育環境について～

主な意見など

小中一貫校（小学校と中学校を一緒）とすることについて

- 子どもにとっては、小中一貫校がいいと思う。ただ、小学校と中学校の先生に児童生徒、保護者への対応について違いを感じる。連携を深めて開校に備えることなどが必要と思う。
- 小中一貫校とせず、今のままでもいいと思う。
- 今のままとすることで、将来的に、南松尾はつが野学園や南池田校区等への移転統合となるのは心配。
- 小中一貫校を建設したとしても、今後、児童生徒数が増える見込みはないので、2クラスが将来的にも確保されるか、不安がある。
- 南横山小は、ずっと1クラスなので、複数学級にする必要性を感じない。
- 就学前児童の保護者の意見を十分に聞いてあげてほしい。

(市より)

今後の方向性に対しては、様々な意見を伺っています。
小中一貫校は、有意義な教育環境のひとつとは考えていますが、今後も情報発信や意見交換を行いながら、方向性の整理に努めることにします。

特認制度について

- 今の特認校は、南横山小の場所にあっこそ成立する。別の場所で小中一貫校の特認校とするなら、違う形での特認校を考える必要がある。

(市より)

別の場所で、小中一貫校を建設する場合、今と同じ環境を確保することは困難です。自然学習をはじめとして、これまでの良さの継承や良い教育環境に向けて、どのような取組みを行うことが考えられるのか、整理することは重要と考えています。

跡地利用について

- ✿ 学校があるので、地域が一体となり、活気も生まれている。小中一貫校とする場合でも、利活用の検討が非常に重要。
- ✿ 自然環境をはじめとした、教育など、色々な場面での方策を一緒に整理すべき。

(市より)

次回の意見交換会、跡地活用についての情報発信も行う予定としています。

教育環境について

- ✿ 施設一体となることで、高学年が低学年をいじめたり低学年が高学年の受験勉強の邪魔になったりしてしまうことはないのか？

(市より)

他市の事例を含めて、小中一貫校では、低学年は、高学年に憧れ、高学年は低学年を見守る傾向にあります。一般的には、いじめや不登校、異学年間での不協和音は改善する傾向にあります。

- ✿ 6年生のリーダーシップがなくなるのか。

(市より)

各行事や活動に関して、6年生のリーダーシップを育てる場面を設けるなど他市や南松尾はつが野学園でも工夫をしています。

スクールバスについて

- ✿ スクールバスはどうなるのか？
- ✿ 特認の中学生への支援もして欲しい

(市より)

小中一貫校とする場合には、その建設場所などを確認しながら、スクールバス・路線バスの活用等を検討します。